



今月の主な内容

- 119番通報とAED 2~4
- 平成18年度町表彰式 6
- 軽米雁舞館全国大会に挑む 10~11
- 生涯学習フェスティバル 12~13

「早く救急車をお願いします！」事故や急病などさまざまな状況が待ち構える119番通報。救急救命活動は、一分一秒の対応がかけがえのない命の行方を左右します。わたしたちが安心して暮らせるのも、救急時にも冷静に確実に対応してくれる救急隊員の存在があるからです。隊員は日々の訓練と技術の習得に余念がありません。（写真は、二戸消防署軽米分署で行われている実践を想定した救急救命訓練）



①119番通報します

- 町内的一般固定電話から119とダイヤル⇒軽米分署の救急へ通報
- 町内的一般固定電話から46-4119とダイヤル⇒軽米分署の一般電話に通報
- 町内で携帯電話から119とダイヤル⇒二戸消防署に通報



②通報を受け、救急隊が現場に向かいます

- 救急隊は、救急車を現場に向かわせながら、同時に患者さんの状態をできるだけ把握し、現場での迅速・適切な処置に備えます



③消防署員に状況をお話しください

- 通報者(自分)について 氏名、住所(行政区と地割地番)、電話番号
- 救急対応が必要な人(傷病者)について 誰が、どこに(屋内、屋外など)、どのような症状か



④通報者は、救急隊が到着するまで現場に必ず居てください

- 通報者は救急隊が到着するまで現場に居て、患者の状態の変化を観察したり、必要によつては人工呼吸、AEDなどの応急手当を行つてください



⑤病院などへの搬送には家族も同乗ください

- 患者を救急車で病院等へ搬送する際には、家族の方が同乗します。その際に、患者の病歴や入院歴、その他詳しい症状などを確認することができます

への気管挿管や点滴などの処置が可能な資格・技能を持つ救急救命士を配置するなど、救命率向上に向けた救急体制が整備されています。

早目の手当が救命率を上げる

救急隊員は、119番通報の現場を確認しあいすぐに出動し、通報者からの情報をもとに現場での対応に備えながら救急車を走らせます。しかし、119番通報を受けてから現場に到着するまでにはどうしても時間がかかります。(町内でも要する平均時間は、約七分とされています。)

心肺蘇生法を習得しましょう

この間に必要なのが、わたしたちにもできる応急手当です。その一つが、心肺停止者への人工呼吸や心臓マッサージ、自動体外式除細動器(AED)による心肺蘇生法です。呼吸が止まると脳に酸素が送られなくなり、脳細胞の一部が損われてしまう恐れもあります。救急車が到着するまでの間、心肺蘇生を実施す

ることで救命率が大きく向上することが分かっています。

救急の現場から



救急救命士の長興寺さん

皆さんの家庭などで急病人やけが人が出た場合に、一刻も早く病院に運んでほしいとの声は切実です。

わたしたち救急救命士・救急隊員は、医療機関での研修や日々の搬送訓練を重ね、患者さんを少しでも良い状態で病院などに搬送できるよう最善の努力を行っています。

的確な判断と適切な処置が要求される救急の現場では、患者さんの呼吸・脈拍・血圧・体温などのほか、家族の皆さんからの情報が重要な判断材料になります。焦らずに落ち着いて救急隊員のお話しに耳を傾けてください。

通報者や家族との連携が、迅速で的確な対応を可能にします。皆さんの協力をお願いします。



【左から】救急救命士の長興寺一弘消防士長、脇澤忍消防士長、救急隊員の橋本徹消防士、戸草内剛消防士

かけがえのない大切な命を救うために

119番通報は近年増加傾向

皆さん、「119番」通報で救急車を呼んだことがありますか?

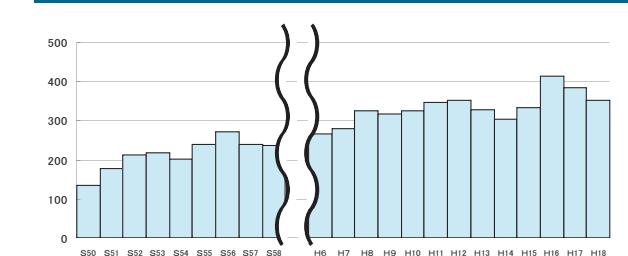
災害や交通事故、急病などで医療機関への緊急搬送が必要な場合に、救急隊が搬送を行なうことが救急業務です。

平成十八年一月から十二月までの一年間で、町内で救急車の出動要請があつた救急業務は三百五十二回。おそらく一日に一回の割合で出動していることになります。中でも、高齢化の進行などで、急病によるものが二百二十一件と約六割を占めています。

年次別に見てみると、昭和五十年から増減を繰り返しながら二百件台を維持してきましたが、平成八年以降は三百件を超え、十六年の四百四件をピークに、ここ数年は三百件台で推移しています。このように、119番通報はわたしたちの生活においても、より身近で、いざという時にはなくてはならない存在になっています。

軽米分署でも、心肺停止者現在、軽米分署には救急救命士が三人配属されて、救急隊員と常時三人体制で救命活動にあたっています。近年、早い段階での応急措置が救命率の向上につながることが報告されており、特に専門知識・技能を持ち、現場にいち早く駆けつける救急救命士の役割が大きくなっています。

年次別救急出動回数の推移(昭和50年~平成18年)



わたしが考える 軽米の町づくり

平成17年度軽米町小中学生の 生涯学習作文コンクール表彰式

平成17年度に町生涯学習推進本部（本部長＝山本賢一町長）が募集した町小中学生の生涯学習作文コンクールの表彰式が2月28日、役場庁舎で行われ、入賞した18人に表彰状が贈呈されました。受賞された方々は、次のとおりです。（敬称略、応募時の学年は小学校は5年生、中学生は2年生）

★小学校の部



【最優秀賞】梅木大幹（米田小）

「ぼくが町長になったら」（雑穀の缶詰工場をつくり、雑穀の栽培から加工、雇用の場にしたい。雑穀と若者の雇用、特産品開発と販路拡大を手がけたい。みんなが助け合っていく町を創造したい）

【優秀賞】長瀬武継（晴高小）

「雑穀で町おこし」

【奨励賞】大西優香（晴高小）、日脇崇史（軽米小）、小笠原美瑞萌（軽米小）、門前実希（軽米小）、鶴飼一喜（笹渡小）、長井茉依（観音林小）、山下莉奈（山内小）

★中学校の部



【最優秀賞】増尾瑞希（小軽米中）

「軽米町から全国に」（老人ホームと保育園を併設し、老人と子どもたちの交流で新しい発見と新鮮で刺激的な日々を送ることができ、子どもたちは命の貴さなども学ぶきっかけにもつながる。軽米から全国に発信したい）

【優秀賞】小笠原秋陽（軽米中）

「僕が町長になったら」

【奨励賞】高林亜矢子（軽米中）、一條彩（軽米中）、山崎久美子（笹渡中）、関紗采（晴山中）、木村成美（軽米中）、百鳥春香（笹渡中）、日山雪菜（小軽米中）



心に残る1冊

平成18年度町小中学生 読書感想文・感想画コンクール表彰式

最優秀賞と優秀賞受賞者（敬称略）

- 【読書感想画部門】
◎小学校1・2年の部
最優秀賞 高田野乃華（米田小2年）
優秀賞 荻谷玲奈（晴高小1年）
【読書感想文部門】
◎小学校3・4年の部
最優秀賞 松谷枝穂（小軽米小4年）
優秀賞 百鳥礼（笹渡小3年）
◎小学校5・6年の部
最優秀賞 横島敬子（軽米小6年）
優秀賞 山谷悠花（山内小5年）
◎中学校の部
最優秀賞 古川雪乃（笹渡中2年）
優秀賞 古里裕幸（晴山中2年）

平成十八年度の町小中学生
読書感想文・感想画コンクール
表彰式が二月十六日、役
場で行われました。

全八百六十四点の応募作品
の中から、小学校低・中・高
学年と中学生の各部門ごとに
最優秀賞と優秀賞をそれぞれ
一作品ずつ選考。受賞者に中
野新一町教育長から表彰状と
記念品の図書カードが贈られ
ました。

審査委員長の小平光子観音
林小校長が、受賞者一人ひとり
について講評を行い「皆さ
んの作文には、それぞれの思
いが込められていた。これか
らも、自分の心に残る一冊一
冊を大事にしてほしい」と話
していました。

1イー歯トープ 8020表彰



平成十八年度イー 歯トープ8020コ ンクール（県歯科 医師会主催）の表彰

伝達式が二月二十三

日、健康ふれあいセ

ンターで開催された

町歯科保健部会（堀

）

表彰式に出席した3人の被表彰者の方々

【左から】

西山三太郎さん

（81歳、下新町）

福島キヨさん

（88歳、向川原）

輪達仁太郎さん

（82歳、本町）

館林スエさん

（82歳、萩田）

※館林さんは欠席

同コンクールは、いつまで
も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
していました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
していました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
していました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

四人の方が表彰されました。

「歯磨きは毎日欠か
さないが、好き嫌い
なく食べるなど丈夫
な歯を作るこども大
事」などと、健康な
歯と体の秘訣を話
ていました。

も自分の歯で食事ができるこ
とをめざし、八十歳で二十本
以上の自分の歯をお持ちの方
を顕彰するもので、本年度は

町内中高生の海外派遣が一月四日から十一月までの日程で実施され、町立中学校四校と県立軽米高等学校から七名が参加。一戸町教育委員会と初めて合同で実施された今回は、アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア州サンフランシスコでホームステイをしながら、ホストファミリー（受入家族）との日常生活や学校訪問を通して、日本とは異なる文化や歴史、風土などに直接触れました。三十日に役場で行われた帰国報告会の中、研修の感想などについて紹介します。



出会い、発見、驚き、そして別れ…

平成18年度中高生海外派遣研修から帰国



派遣研修団団長
軽米中学校
嵯峨 進 校長

軽米町・一戸町ともに、過去の研修においてそれぞれの生徒が貴重な体験をし豊かな国際感覚を身につけ、社会で活躍していることを思い、今回の生徒もぜひそうなることを願いながら研修に臨みました。

今回参加した13人の中高生は、積極的に、そして真剣にこの研修に取り組みました。その挑戦は見事でした。子どもたちの順応性の高さには「すごい」の一言です。日を追って表情が変わり、自信を持って行動する姿に頼もしさを感じると同時に、日本文化への理解を深めるきっかけをつかんだようでもありました。今後、日本文化の「何」に光を当てて理解を深めていくのか、大いに期待したいと思います。

国際交流が進展する社会にあって、中高生が異文化に触ることは大きな意義があります。今回の研修が、生徒たちの将来の夢を実現する手助けとなればと思っています。この経験をスタートに、さらに次の夢を求めていくことを願っています。

研修で感じた 刺激を忘れない



ささかわ さき
川 沙樹さん
(軽米高2年)

事前研修などを行ないながら、出発が近づくにつれ緊張感に不安、そして期待が膨らんでいった。ホストファミリーは三人家族のヒックリーさん宅で、お土産の千本松と一緒にボーリスカウトにも参加し、ボランティアを進んで行っていることを素晴らしいと思いました。学校訪問では、日本の文化や昔遊びの紹介、習字を教えたりしました。日本の漢字に興味を示してくれたようで、和やかな雰囲気で会話を楽しむことができました。

研修には、自分の視野を広げ、たくさんのことを感じ、自分を成長させたいと思って参加しました。ホームステイや学校訪問などを通して、日本との違いをたくさん体験しました。研修先の中学校や高校では、生徒が自分の意見をしつかりと持つていて主張することができ、疑問に思ったことはすぐ図書館に行ってとことん調べていました。自分と同世代なのにこ

んなにも違うんだと思ふことを痛感しました。

研修を通して、自分を見つめ直し新たな課題を見つけることができました。もつと物事を深く考えたり、徹底的に調べたりして自分

の意見をしつかりと持つ努力をすることできました。たくさんのことを感じ、学ぶことができたこの研修を無駄にすることなく、自分自身の成長の糧にしたいと思います。

日本を見直すきっかけに



わかみや み
若宮 美紗子さん
(軽米高2年)

研修に参加した大きな目的は、自己の英語力の確認と向上、将来英語を生かした仕事をするために足がかりとすることでした。英語はある程度自信があるのですが、最初は聞き取りも、伝えることもできなくて力の無さを痛感しました。もつと必死になつて英語を磨いていこうと心に誓いました。ホストファミリーとの生活では、肉やヨーグルトなど高カロリーな食

事で、日本の食事がいかに素晴らしいかを体で感じることができます。普段何気ない食事を見直すきっかけになりました。学校授業は、小学一年生はローマ字や数の教方など日本と同じでした。高校での数学は日本のはうが進んでいました。言語は違つても別れを惜しむ気持ちは共通であることや、食文化や学習に対する意識の違いなどを深く学ぶことができました。

この感動は人生の宝に

印象に残った文化の違いとファミリー



ふるかわ ゆきの
古川 雪乃さん
(笛渡中2年)

いざアメリカへ。期待と不安を胸に旅立ちました。到着後すぐ、大きくてカラフルな建物や量が多くて青や緑の食べ物に驚き、日本との文化の違いを身近なところから実感しました。印象深かったのは、ファミリーのみんなが本当の家族のように優しく接してくれて嬉しかったこと。わたしももっと家族に解け込みたいと思うようになりました。安心することができます。ホームペ

ーティに驚き、訪問先の学校では授業中の立ち歩きや寝ていたりして自由の文化を感じました。お別れのとき。初め、四日間は長いなーと思っていました。過ごしてみるととても早く感じ、やつとファミリーと積極的に話せるようになつたので、別れるの

研修を通して、言葉が通じなくても伝わることを知りました。この経験を無駄にすることなく、生かしていきたいです。

日本文化の良さをあらためて実感



よこしま
横島 麻美さん
(軽米中2年)

更にさまざまな人に伝えていかなければならぬと思いました。さらに積極的に英語を学習し、広い視野で世界の文化の違いなどを学んでいました。

日本文化の素晴らしさを日本が恋しく思つた。日本が恋しく思つた。せいかもしれませんが、日本を離れて初めて感じました。外国人が日本に来るの

は、日本文化を求めてやつてくるのでしよう。わたし

はあらためて知りました。日本が恋しく思つた。日本が恋しく思つた。せいかもしれませんが、日本を離れて初めて感じました。日本は「集団」と「規律」を尊重する国であることです。なぜかと言ふと、授業中でも私語をしたり飲食をしたりするが、日本語が

サンフランシスコに着いて最初に感じたことは「香りが違う」ということでし

た。日本と一味違う、異国情緒漂う、そんな香りです。

アメリカの人に触れ思つたのは、アメリカは「個人」と「自由」を尊重する国で、日本は「集団」と「規律」を尊重する国であることです。なぜかと言ふと、授業

文化の違いに広がる視野



やまもと
山本 彩未さん
(小軽米中2年)

「アメリカの匂いは独特だ」現地に着いて初めてに思い、実感がわいてきました。この海外派遣を通して文化の違いを深く知ることが

できました。ファミリーの人が恋しく思つた。日本が恋しく思つた。せいかもしれませんが、日本を離れて初めて感じました。外国人が日本に来るの

は、日本文化を求めてやつてくるのでしよう。わたし

は日本文化の素晴らしさを日本が恋しく思つた。日本が恋しく思つた。せいかもしれませんが、日本を離れて初めて感じました。日本は「集団」と「規律」を尊重する国であることです。なぜかと言ふと、授業

中でも私語をしたり飲食を

サンフランシスコに着いて最初に感じたことは「香りが違う」ということでし

た。日本と一味違う、異国情緒漂う、そんな香りです。



獲得した優勝旗6本

軽米雁舞館3月に全国に挑む

軽米雁舞館の歴史は、昭和三十年に故並岡武男さんの指導のもとで始まりました。結果には全国大会で優勝を収めるなど、五十年を超える長い間に数多くのタイトルを獲得してきました。

そうした中、平成十八年度の軽米雁舞館は快進撃を続けてきました。団体で出場した六つの大会で優勝。個人でも主将の坂本隆磨くん（軽米六年）を中心に四回の優勝を飾っています。団体で獲得した優勝旗の数は六本。特にも六月の県知事杯では、Aチームが優勝、Bチームもベスト八に入り、全国大会へのアベック出場を果たしました。

三月二十七日から岡山県で開催される全国スポーツ少年団交流大会に出場が決まり、現在猛稽古に励んでいます。

六年生八人にとっては、軽米

雁舞館の剣士として最後の大會。男女混合の団体戦で行われるこの大会は、チーム拿体の総合力で、上位入賞をめざします。

軽米の地で生まれ、半世紀にわたり地域の人の手によって継承されてきた軽米雁舞館。創始者の並岡さんその後も、雁舞館OBらが中心となって指導にあたり、伝統を守り続けてきました。これからも軽米雁舞館から全国に通用する選手の育成、チームづくりを目指します。

卓球競技に14チーム 第29回町総体



シングルスのほかダブルスの試合でも盛り上がりを見せた町総体

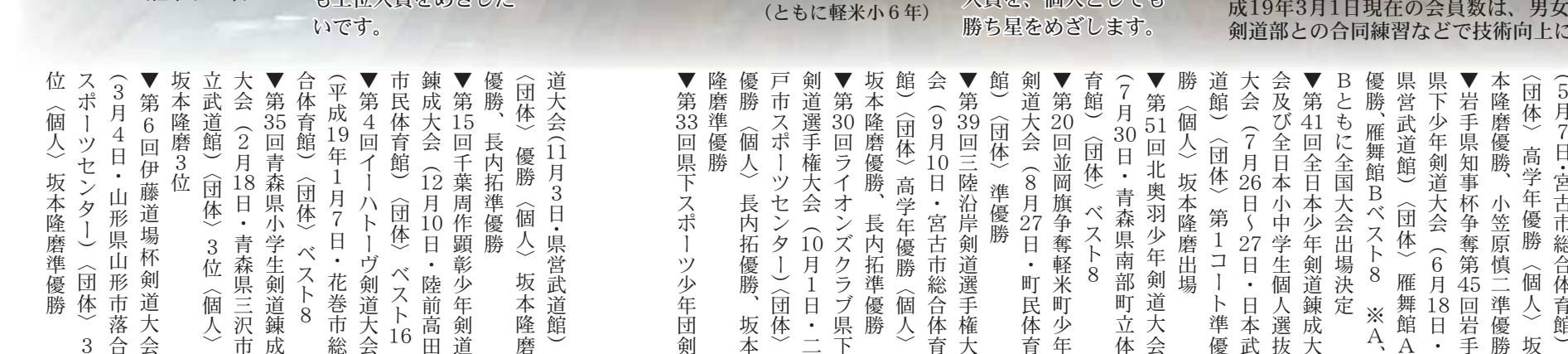
第二十九回町総体の卓球競技第二十六回大会が二月十八日、町民体育館で行われました。十四チーム二百三十人あまりが参加し、ブロックごとに総当たり戦で熱戦を展開。Aブロックでは山内チームが全勝で優勝を飾りました。

第二十九回町長杯卓球大会が二月四日、町民体育館で開催されました。小学生一年生から一般の部まで、町内外から延べ二百五十人あまりが参加。会場内の各コートでは、優勝をめざして熱い戦いが展開されました。各種目ごとの優勝者と優勝チームは下記のとおりです。

町長杯卓球大会の優勝者・チーム（敬称略）

<ホープミニ男子>	百鳥 礼（笠渡小3年）
<ホープミニ女子>	平内瑠梨（観音林小4年）
<ホープ男子>	小笠原涼馬（観音林小5年）
<ホープ女子>	小林杏里（観音林小5年）
<カデット男子団体>	晴山中
<カデット女子団体>	福岡中A
<カデット男子個人>	小林竜也（晴山中2年）
<カデット女子個人>	山本愛奈（福岡中2年）
<アマチュア男子>	小林福正（観音林南）
<アマチュア女子>	小笠原玲子（上谷地渡）
<一般男子>	小笠原一臣（福岡工高2年）
<一般女子>	橋場さとこ（町卓球協会）

延べ250人が熱戦を展開 第29回町長杯卓球選手権大会



平成18年度の栄光の戦歴（敬称略）

▼第51回北岩手南青森下川杯少年剣道大会（平成18年4月29日・岩手県三戸市立体育館）（団体）

高学年優勝

▼第33回黒潮旗少年剣道大会（5月7日・宮古市総合体育館）（団体）

高学年優勝

▼第41回全日本少年剣道錬成大会及び全日本小中学生個人選抜大会（7月26日～27日・日本武道館）（団体）

Bともに全国大会出場決定

▼第41回全日本少年剣道錬成大会（7月26日～27日・日本武道館）（団体）

本隆磨優勝、小笠原慎二準優勝

優勝、雁舞館Bベスト8

※A、

優勝、雁舞館Bベスト8

町民みんなが

主

役になる日

観客からは最後まで盛大な拍手が送られました

第5回 町民生涯学習 フェスティバル

第5回町民生涯学習フェスティバル（住民の手による生涯学習フェスティバル実行委員会主催）が2月11日、農村環境改善センターで行われました。昭和62年に「生涯学習の町」を宣言してから20年。本フェスティバルも5回目を数え、「生涯学習」がわたしたちの身近な活動として定着してきました。ボランティアスタッフと出演者、それに300人もの観客が共につくり上げたフェスティバルの様子を紹介します。



20年目を迎えた 生涯学習の町

町は、豊かな人間性と国際的にも広い視野を持った人材育成、個性豊かな文化活動の活性化を進めようと昭和六十二年に全国に先がけて「生涯学習の町」を宣言しました。以来、各行政区や団体・グループなど生涯学習推進員百人への委嘱や、町民大会の開催など、住民が主体となつて、地域や世代、分野を越えた幅広い活動が行われてきました。



平成18年度軽米町体育協会表彰
被表彰者（敬称略）

【優秀選手】小中高生一般

卓球	小笠原涼馬	観音林小5年
	赤羽里佳	軽米高3年
	小林里美	軽米高3年
	南志歩	軽米高2年
	長井喜美	軽米高2年
	本田麻童香	盛岡女子高2年 (晴山中卒)
	長坂貴子	新潟青陵高2年 (晴山中卒)
	小笠原笑太	東奥学園高2年 (晴山中卒)
ソフトテニス	山下彩花	軽米小3年
	田澤友佳	軽米小3年
	工藤冴	軽米小3年
	滝沢恵実	軽米小5年
	松長根美咲	軽米小5年
	横井内綾子	軽米中2年
	川原木智子	軽米中2年
	小笠原龍介	軽米中2年
	木村恭也	軽米中2年
	田畠あやか	軽米高3年
剣道	坂本隆磨	軽米小6年
	長内拓	軽米小6年
	戸草内洋輝	軽米高1年
	佐々木敦美	門前
	佐藤暢芳	本町

【優秀団体】小中高生一般

県立軽米高・卓球部女子
軽米中・男子ソフトテニス部
軽米中・女子ソフトテニス部
軽米雁舞館スポーツ少年団
軽米町ソフトテニス協会
軽米町クレー射撃協会



生涯学習フェスティバルの席上で行われた平成18年度町体育協会表彰式



5時間のステージ にも最後まで拍手

この日のステージは、あおぞらバンの曲で幕開け。舞踊や歌、郷土芸能、ヨサコイなど全二十七組、延べ百八十人あまりが出演し、約五時間にわたり繰り広げられました。司会を務めた副会長でもある古館壽郎さん（横枕）のユーモアあふれる進行も、会場

協力金のお願いに 多くの支援

前回の開催から、来場者な

作品展示や売店も 学習成果の発表会

会場の玄関口には、ふれあい作業所のガラス彫り、書道展示コーナーも設けられ、来場者の目を楽しませたほか、農産物直売所「ノーリン」による豆腐田楽やみそ餅といった郷土食の売店も開かれ、賑わいをみせていました。

次回の開催に向け
みなさんの力を

内を和やかな雰囲気に包み込みました。会場に訪れた約三百人の観客は、惜しみない拍手を送るなど、最後まで楽しんでいました。

次回の開催に向け
みなさんの力を

どちらの一口五百円の協力金で運営され、この日は合計で、約十七万円の支援が寄せられました。協力金は、チラシの作成・配布などのフェスティバル運営費に充てられています。

フェスティバルの企画・運営を行う実行委員会と、学習成果を発表する団体などはすべて町民の方々の手づくりにより開催されています。

次回のフェスティバル開催には、あなたのアイデアと日ごろの成果を生かしてみませんか。

各地区で実施されている生涯学習への取り組みを紹介します



【増子内農村振興会館でソバ打ちと雑穀おやつづくり】

増子内地区では2月8日にソバ打ち、20日には雑穀がんづきづくりを開催。各日とも20人ほどが集まって、雑穀を使ったおやつ作りに腕を振りました。食生活改善推進委員が指導しながらの活動は好評を得ていました。



【観音林東地区でつまご作り】
観音林東地区では1月28日、昔ながらの技を応用した「つまご作り」に挑戦しました。ワラ細工職人の平春治さん（観音林東）の指導のもと、柔らかな生地を使用し、室内などでも使えるものに仕上げました。参加者は、昔懐かしい手づくり作業に熱中し、楽しんでいました。

心躍る高校生による「アレンジメント演劇」



カツラと大名衣装、舞台化粧をした高校生の演劇を楽しむ施設利用者の皆さん

福祉ボランティア活動に取り組む県立軽米高校JRC部（大久保麻衣部長、部員五人）が二月一日、三日、五日に町内の福祉施設で演劇による慰問活動を行いました。演劇は初めての挑戦でしたが、趣向を凝らした衣装や江戸時代の軽米の鉄山を舞台にした人情味あふれる物語に、観客は笑つたり涙を浮かべたりしながら楽しんでいました。観劇した高澤サトさんは「軽米の鉄山について知るきっかけにもなって、楽しかったです」と笑顔で話していました。



桃の節句をテーマにしたフラワーアレンジメント講習会で花壇づくりの発想を膨らませていました

今年の花壇づくりをスタート

町を彩る地域や学校花壇など二十三団体、家庭花壇の四人の方が参加した第十八回花いっぱいビューティー軽米推進コンクールの表彰式が二月二十三日、役場で行われました。表彰式に続いて行われたフラワー・アレンジメント講習会には二十五人が参加。桃の節句をテーマに色とりどりの花が小さなかごに飾られました。参加者は「それぞれの花が引き立つよう工夫してみた。家でも実践してみたいですね」などと、一足早く花の季節を楽しんでいました。



桃の節句をテーマにしたフラワーアレンジメント講習会で花壇づくりの発想を膨らませていました

特色ある学校づくりを紹介

子どもたちの学力向上・健全育成に向けた地域教育活動を進める町教育振興運動・青少年健全育成運動集約集会が二月二日、農村環境改善センターで開催されました。各小中高校で取り組む実践区発表や、中学生による力強い青少年の発表、「学校生活を楽しくするには」をテーマにしたシンポジウムなどを開催。地域活動や世代間交流、福祉体験などを通じた取り組みが発表され、参加者は今後の取り組みに向けて熱心に耳を傾けていました。



部活、地域活動、勉強、友人関係など今の学校生活について発表する中高生の皆さん

母の気持ち込めマスコット作り



交通安全の気持ちをこめたマスコットづくりに取り組む町交通安全母の会の皆さん

町交通安全母の会連絡協議会（工藤育子会長）の交通安全マスコットづくりが二月二日と三日、農村環境改善センターで行われました。年間を通した交通安全啓発活動に使うマスコットは全て会員による手づくり作業。今回は毛糸で巻きあわせた人形約七百個を作成しました。工藤会長は「子どもたちが巻き込まれる事に心が痛む。改めて交通安全を広く呼びかけていきたい」と意気込みを話していました。



「どっこいしょ」の小中学生による威勢の良い演舞に観客は魅了されていました

どっこいしょ結成5年を祝福

円子よさこい組「どっこいしょ」（宮本健一代表）の創立五周年を記念した芸能まつりが二月十八日、円子小体育館で開催されました。同団体の演舞のほか、地区民による歌や踊りなど多彩な芸も繰り広げられ約二百人の観客は華やかな舞台を楽しみました。宮本代表が「皆さんのがいさつ。同団体は平成十五年に結成以来、町内外のイベントや福祉施設の慰問活動などを行っています。今後ともよろしくお願いします」と援が嬉しくて五年間やつてこれた。

観音林小学校（小平光子校長、児童五十九人）の観小ちから太鼓の引き継ぎ式が二月二十一日、同校体育馆で行われました。全校児童と父母ら約六十人が見守る中、六年生が最後の力強いバチさばきを披露。六年の古里由希さんが「ちから太鼓の伝統を頼みます」とバチを差し出すと、五年の古館和希くんが「先輩から学んだものをしつかり伝えていきます」と引き継ぎました。観小ちから太鼓は平成四年に始まり、上級生から下級生へと継承されています。



卒業する6年生からバチを受け継ぎ、力強い演奏を見せた3年生から5年生までの児童

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

親子あそびの広場「節分」が1月26日に開かれ、20組の親子が楽しみました。鬼の豆入れを作った後、保育士が鬼に変装し登場。現れた鬼に、子ども達は豆をぶつけることもできず、泣くばかり。怖さのあまり「もう帰ろうよ」とおかあさんに訴え、帰り支度を始める子もいました。

鬼につかまれて大泣きする子ども

今年も4月の胃検診から始まり、がん検診や基本健康診査が行われます。それぞれの検診が近くなったころ、申し込みがあった方に区長さんを通して通知書をお届けします。

検診の受け付けの際に用紙を回収できなかった方や記載漏れのあった方には、できる限り確認を取りようしましたが、連絡の取れなかつた方には通知書が届かないことがあるかと思います。

通知書が届かない方で「検診を受けたい」という方は、今からでも健康福祉課・健康づくりグループ（健康ふれあいセンター内 46-4111）にご連絡ください。

また、申し込みの時は受けないことにしたが「受けたくなかった」という方も、同じく受けることができます。

自分のからだに关心を持つきっかけに、ぜひ健診をお役立てください。

丈夫に育つ 元気に働く 健やかに老いる
健康づくりに検診をお役立てください
～申し込みを忘れた方も受けられます～

健康福祉課主任保健師 日向 安子

今年も4月の胃検診から始まり、がん検診や基本健康診査が行われます。それぞれの検診が近くなったころ、申し込みがあった方に区長さんを通して通知書をお届けします。

検診の受け付けの際に用紙を回収できなかった方や記載漏れのあった方には、できる限り確認を取りようしましたが、連絡の取れなかつた方には通知書が届かないことがあるかと思います。

通知書が届かない方で「検診を受けたい」という方は、今からでも健康福祉課・健康づくりグループ（健康ふれあいセンター内 46-4111）にご連絡ください。

また、申し込みの時は受けないことにしたが「受けたくなかった」という方も、同じく受けることができます。

自分のからだに关心を持つきっかけに、ぜひ健診をお役立てください。

【氏名】Shawn MacDonald
【国籍】カナダ
【生年月日】1982年6月9日生 24歳
【略歴】ゲルフ大学卒。2006年8月3日から町の英語指導助手。趣味はスキー。



ショーンのかるまい日記

Umeki-san: Hello Shawn, how have you been this past month? Keeping warm I hope!?

梅木：ショーン、この1ヶ月どうしてた？暖かくしてた？！
Shawn: Hi Umeki-san, I've been fine thank you! I've been keeping busy and making the most of the winter weather on my weekends. I've been up to Hokkaido to see the Sapporo Snow Festival, and I am learning how to snowboard!

ショーン：こんには、梅木さん。大丈夫ですよ。週末は結構忙しかったけど、冬を楽しみました。雪まつりを見に札幌に行って来ました、今はスノーボードに挑戦中です。

Umeki-san: How was the Sapporo Snow Festival?
梅木：札幌の雪まつりはどうだった？

Shawn: The weather was definitely chilly, but the beautiful ice and snow sculptures on display more than made up for the cold. I got to try some new foods as well. I had lamb for the first time and I even tried a deer burger! It was delicious!

I did have a bad experience though; I lost my wallet while getting out of a taxi, and didn't have any money or identification for the rest of the weekend.

ショーン：天候は確かに寒かったけど、氷と雪の像は寒さも忘れるくらい美しかったんです。初めてラム肉を食べてみたし、なんと鹿の肉のバーガーにもトライしたんですよ。うまかったなー。でも悪い経験もしたんです。タクシーを降りる時にサイフを落としちゃって、週末の間お金は全然無いし、身分証も無いし。

Umeki-san: Oubeika! - Slaps Shawn on the head - What will you do without your wallet?

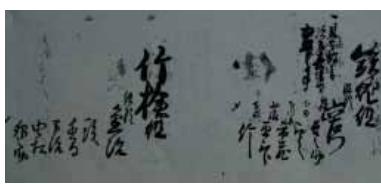
梅木：欧米か！（ショーンの頭をたたく）サイフが無かったらどうするの？

Shawn: Well, after I arrived back in Karumai, I was very lucky! I received a phone call from a person who found my wallet in Sapporo! They found it on the street in the snow and used information on one of my cards to contact me. They were very kind and had it mailed to me here in Karumai. I was very fortunate.

ショーン：でも、凄くラッキーだったんです。軽米に着いてから、札幌で僕のサイフを拾った人から電話があって。通りの雪の上に見つけて、僕のカードから住所を知って連絡して来ました。とても親切な人たちで、軽米に郵送してくれたんです。すごく幸運でした。

Umeki-san: Yes, that is very fortunate indeed! Be more careful next time!

梅木：本当に運が良かったね。次からはもっと気をつけなきゃね。



「村方警衛帳」

笑顔あつまれ！みんなの広場

我が家の人気者 すこやかさん



藤原 隼磨くん (2歳11ヶ月)

愛称：はゆ

(下新町) 陽介さん・美雪さんの長男

古文書で見る 軽米の歴史 77
（村方警衛帳）

前回に引き続いて、村方引き継ぎの文書には村方の治安維持を定めた「村方警衛帳」がある。

現代は、火事では消防署、盗賊や悪事などの事件には警察署があるが、江戸時代には村方の者の自治で行われた。その取り決めごとを記したものが「村方警衛帳」である。

前回に引き続いて、村方引き継ぎの文書には村方の治安維持を定めた「村方警衛帳」がある。

現代は、火事では消防署、盗賊

や悪事などの事件には警察署があ

たるが、江戸時代には村方の者の

自治で行われた。その取り決めご

とを記したものが「村方警衛帳」である。

事件の発生を知った村民は、大

急ぎでその場所へ詰め、事件の解

決にあたつた。在宅していながら

名主の指揮でほら貝を吹き、太鼓

を叩き、また小太鼓を叩きながら

触れ回る者など、村民に事件の發

生を知らせた。

事件の発生を知った村民は、大

急ぎでその場所へ詰め、事件の解

決にあたつた。在宅していながら

</

町のこよみ・かるまいカレンダー

3月 March

16	金	
17	土	
18	日	町バドミントン大会【体】
19	月	介護予防教室しゃっくとクラブ【ふ】
20	火	
21	水	【春分の日】
22	木	あのなっす相談所【老】10:00～15:00
23	金	介護予防教室しゃっくとクラブ【晴山公民館】
24	土	にここ広場【軽米保育園】9:30～11:30
25	日	夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】～27日
26	月	
27	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00～15:00(予約23-3111)
28	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00～12:00
29	木	あのなっす相談所【老】10:00～15:00
30	金	
31	土	

4月 April

1	日	山火事防止パレード【町内】9:00～
2	月	
3	火	胃がん検診【晴山公民館、晴山農業構造改善センター】6:00～8:30受け付け 第56回1才馬匹共進会・岩手南部駒1歳馬せり市【軽米家畜市場】11:00～
4	水	胃がん検診【ふ】6:00～8:30受け付け 乳児健診【ふ】13:00～13:30受け付け H18年5月、8月、11月、H19年1月生まれ対象
5	木	胃がん検診【小軽米生活改善センター】 6:00～8:30受け付け あのなっす相談所【老】10:00～15:00
6	金	胃がん検診【米田農業構造改善センター、笛渡農業構造改善センター】6:00～8:30受け付け
7	土	
8	日	【県知事・県議会議員選挙投開票日】 胃がん検診【役場】6:00～9:00受け付け
9	月	胃がん検診【円子生活改善センター、屋敷自治公民館】6:00～8:30受け付け
10	火	胃がん検診【山内農業構造改善センター、高家生活改善センター】6:00～8:30受け付け 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00～15:00(予約23-3111)
11	水	胃がん検診【役場】6:00～8:30受け付け ピヨピヨ教室【ふ】10:00～12:00
12	木	成分献血【役場】10:00～12:00、13:00～16:00 あのなっす相談所【老】10:00～15:00
13	金	
14	土	にここ広場【軽米保育園】9:30～11:30
15	日	

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
体:町民体育馆 **環:**農村環境改善センター **公:**中央公民館 **図:**町立図書館
病:県立軽米病院 **ふ:**健康ふれあいセンター **フ:**雪谷川ダムフォリストパーク・軽米 **ミ:**ミレットパーク **歴:**歴史民俗資料館 **ハ:**ハートフル・スポーツランド **運:**町営運動場 **ゲ:**ゲートボール場 **野:**高校野球場



発行／岩手県軽米町 編集／総務課
(毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL0195-46-2111㈹ FAX0195-46-2335
URL http://www.town.karumai.iwate.jp/

ある日の風景

仲町の軽米駐在所前に光り輝く「大事にしよう地域のきずな」の文字。町商工会青年部(長瀬徳彦部長)が、地域を愛し大切にしようとの願いを込め製作したもので、道行く人々を優しく見守ってくれています。



冠婚葬祭 1月届出分

<敬称略>

おめでた

荒町	おのでらひより	(健一)	高清水 池端市太郎 (82歳)
松ノ脇	まつだらいせい	(鉄幸)	観音林東 神久保義男 (69歳)
上新町	たかはしひな	(陽介)	門前 欠端茂光 (74歳)
向川原	きしさと	岸里みゆき (甚作)	外川目 関向八男 (72歳)
下新町	はたさわねね	(光行)	河北 一條キヨ (96歳)
上新町	うえがきぎんた	(津也)	七ツ役 江刺家茂春 (60歳)
貝喰	おがさわらまなか	(常雄)	上晴山 小笠原喜代治 (76歳)
中里	中里キワ (95歳)		下新町 中里キワ (95歳)
山田	日影スエ (88歳)		山田 日影スエ (88歳)
萩田	小笠原節子 (86歳)		萩田 小笠原節子 (86歳)
蛇口	西館キサ (88歳)		蛇口 西館キサ (88歳)
長倉	畠澤キヌ (93歳)		長倉 畠澤キヌ (93歳)
本町	長瀬ヤス (76歳)		本町 長瀬ヤス (76歳)
小玉川	山下トス (76歳)		小玉川 山下トス (76歳)
小玉川	山下正春 (6歳)		小玉川 山下正春 (6歳)
笛渡	下向ナ木 (80歳)		笛渡 下向ナ木 (80歳)
戸草内	戸草内藤松 (80歳)		戸草内 戸草内藤松 (80歳)
車門	福島留五郎 (96歳)		車門 福島留五郎 (96歳)
門前	門前フチ (90歳)		門前 門前フチ (90歳)
和当地	山野内兼松 (86歳)		和当地 山野内兼松 (86歳)

おしあわせに

{ 松山	隆憲	(松ノ脇)
工藤	今日子	(八戸市)
{ 中野	剛司	(萩田)
畠	美樹	(洋野町)

おくやみ

上野場	野林 勇	(79歳)
大久保	下畠 力ヨ	(88歳)

●人の動き <平成19年1月31日現在／町民生活課調べ>

男	5,610人	(-9)	/女	5,784人	(-1)
合計	11,394人	(-10)	/世帯数	3,763	(+5)
転入	13人	(13人)	/転出	9人	(9人)
出生	8人	(8人)	/死亡	22人	(22人)

※()は前月比

※()は1月からの累計

ほつとひといき／編集後記

急救命の現場は、想像以上に緊張感と時間的な制約の中で行われているものと痛感。加えて冷静、沈着な判断と技術も必要とされる。普段の訓練の重要性を再認識しました。
心肺蘇生法講習を先日受講しました。見て